

埼玉学園大学・川口短期大学 機関リポジトリ

Report on Research and Educational Activities

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-02-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://saigaku.repo.nii.ac.jp/records/1450

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



埼玉学園大学 人間学部 専任教員 研究・教育活動（令和3年1月～12月）

人間文化学科

伊藤 栄晃 教授

【著書】

- 1.（部分単著）第3章「西インド諸島の奴隷人口に対するハリケーンの影響」,井上孝・和田光平編著『自然災害と人口』,原書房,8月

【論文等】

- 1.（単著）資料紹介「英領ジャマイカのメソポタミア・プランテーション奴隷目録」,『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号,12月

【学会、研究報告】

- 1.（ゲストスピーカー）伊藤栄晃・井内太郎,「板倉孝信著『ポスト財政軍事国家としての近代英国（晃洋書房,2020年）』書評会」,西洋近現代史研究会9月例会,オンライン開催,9月

掛野 剛史 教授

【著書】

- 1.（他共著）『水上勉 社会派短篇小説集 無縁の花』,田畑書店,10月

【論文等】

- 1.（単著）解説「解説」,水上勉著『わが文学わが作法—文学修行三十年—』,中央公論新社,2月
- 2.（単著）研究展望「オンラインの時代に学会は何を提供できるのか」,『日本近代文学』104号,日本近代文学会,5月

【学会、研究報告】

1. 掛野剛史他,パネル発表「雑誌『小天地』の基礎的研究—明治期地方文芸メディアの一ケースとして—」,日本近代文学会関西支部秋季大会,オンライン開催,11月

熊田 和典 教授

【論文等】

- 1.（単著）論文「John Wilkinsの母音の分類と記述—能動調音器官の形状の観点から—」,『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号,12月

現影 秀昭 教授

【論文等】

- 1.（単著）論文“Bypassing or Smuggling in Syntax of Object Raising Constructions in English”,『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号,12月

西山 智則 教授

【著書】

- 1.（部分単著）「色彩の悪夢—エドガー・アラン・ポーと疫病ゴシック—」,牧原勝志編『幻想と怪奇（8）アメリカン・ゴシック—E・A・ポーをめぐる二百年—』,新紀元社,3月

2. (部分単著)「H・P・ラヴクラフトの退化論の進化論—人種という疫病の恐怖—」, 牧原勝志編『幻想と怪奇(7) ウィアード・テールズ—恐怖と冒険の王国—』, 新紀元社, 9月

布村 育子 教授

【論文等】

1. (単著)論文「総評結成前の日教組は平和運動の方針をどう選択したのか—「平和運動方針案」(1949年11月)修正過程の検討—」, 『戦後日本の教職員組合の教育運動と平和運動』(令和元～3年度), 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果第一次報告書, 1月
2. (単著)論文「結成直後の日教組における婦人部の平和運動—他団体との関係を中心に—」, 『戦後日本の教職員組合の教育運動と平和運動』(令和元～3年度), 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果第一次報告書, 1月
3. (単著)論文「『生徒指導論』の内容と教員採用試験の出題—『生徒指導提要』(2010)を例として—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月
4. (他共著)論文「『昭和31年度 各県教組組織現況調査』について」, 『戦後日本の教育労働運動の構造とそれが教育政治に与えた影響に関する実証的研究』(令和元～3年度), 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A)研究成果第三次報告書, 12月

【学会、研究報告】

1. 布村育子他, 「日本教職員組合の平和運動のスタートを探る」, 日本教育学会第80回大会, 筑波大学, 8月
2. 布村育子他, 「旭丘中学校事件に関する日教組所蔵速記史料の解説」, 教育史学会第65回大会, 神戸大学, 9月

湯浅 吉美 教授

【論文等】

1. (単著)論文「東寺観智院金剛藏『真言付法血脈』(特4箱12号)の調査報告と翻刻」, 『成田山仏教研究所紀要』第44号, 成田山新勝寺, 2月
2. (単著)研究ノート「六国史に見る兵庫鳴動—古代の凶事予兆に関する小論—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 細井浩志・湯浅吉美, 「Calendars」, TIMEJ Online Conference (Time in Medieval Japan 中世日本の時間意識), オンライン開催(スイス・チューリッヒ大学主催), 8月

【その他】

1. 成田山仏教文化講座「奈良仏教の戒律」, 成田山新勝寺, 1月

穴井 潤 専任講師

【論文等】

1. (単著)論文「別本『忠盛集』と平経盛一家集形態の時代性と忠盛敬仰の意識—」, 『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第66輯, 早稲田大学大学院文学研究科, 3月
2. (他共著)注釈「『言葉集』注釈(一)」, 『福岡女学院大学大学院人文科学研究科紀要』第19号, 福岡女学院大学大学院, 12月

【学会、研究報告】

1. 「私家集と物語の境界—『思女集』を手がかりに—」, 平安朝文学研究会2021年度第1回, オンライン開催, 9月

太田 絵梨子 専任講師

【論文等】

1. (他共著) 研究報告書「教師による学び方の指導はいかにして実現できるか—中学校での教科横断的な実践から—」, 『東京大学高大接続研究開発センター入試企画部門2020年度研究成果報告書公開版』, 東京大学高大接続研究開発センター, 3月
2. (他共著) 研究報告書「こんな時代だからこそ, 自学自習を支援する—公立高校での『オンライン学習法講座』の試み—」, 『東京大学高大接続研究開発センター入試企画部門2020年度研究成果報告書公開版』, 東京大学高大接続研究開発センター, 3月
3. (単著) 論文「数学の概念的理解を評価するテストの提案と実践的検討—高校生をつまづきの実態と教師の認識に着目して—」, 『教育心理学研究』 vol.69 no.2, 日本教育心理学会, 6月

【学会、研究報告】

1. 口頭発表 “How can homework design influence teachers’ beliefs? —A case study in a Japanese high school—”, EARLI2021, オンライン開催, 8月
2. 話題提供「自主企画シンポジウム (企画: 市川伸一) 「実践ベース・アプローチから見た学習指導改善の試み—授業と学習評価をどう連動させるか—」」, 日本教育心理学会第63回総会, オンライン開催, 8月
3. 太田絵梨子他, 話題提供「自主企画シンポジウム (企画: 植阪友理・清河幸子) 「心理学者はいかにして実践の場を創出し, 社会に貢献できるのか—オンライン活用も含めて発展する教育センターとの連携事業から—」」, 日本教育心理学会第63回総会, オンライン開催, 8月
4. 話題提供「ワークショップ (企画: 松村京子) 「教育実践に関する研究論文の採択に向けて—掲載論文の査読プロセスから見えてくるもの—」」, 日本教育実践学会第24回研究大会, オンライン開催, 11月

【その他】

1. 太田絵梨子・篠ヶ谷圭太, 村山市立戸沢小学校 校内研修会 指導助言, オンライン開催, 6~7月
2. 太田絵梨子・鈴木玲子, 認知カウンセリング研究会 ケース報告「漢字学習方略の自律的利用の支援」, オンライン開催, 7月

岡田 正樹 専任講師

【論文等】

1. (単著) 書評「東谷護編著『ポピュラー音楽再考—グローバルからローカルアイデンティティへ—(せりか書房, 2020年)』」, 『音楽学』第66巻2号, 日本音楽学会, 3月
2. (単著) 「忘れられた国家事業『インパク』—IT革命と国威発揚の夢—」, 『中央公論』2021年6月号 (第135巻第6号), 中央公論新社, 5月
3. (単著) 論文「楽器小売店の文化的意味—神田・カワセ楽器を例として—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【その他】

1. コメント「忘れられた『インパク』負の教訓」, 『読売新聞』6月9日付朝刊

高山 林太郎 専任講師

【論文等】

1. (単著) 論文「記号論から認知集合論へ—記号としての現実—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月
2. (単著) 資料紹介「高知県伊豆田神社付近の方言の5拍以上形容詞のアクセント資料」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

心理学科

安崎 文子 教授

【著書】

1. (部分単著) 第1章「神経心理学の基礎」第2章「脳の損傷に伴う高次脳機能障害」2.5「言葉の問題」第3章3.1「コラム, 吃音の脳内機序に関する最近の議論」, 柴崎光世・橋本優花里編『Neuropsychology 手を動かしながら学ぶ神経心理学』, 朝倉書店, 9月

【論文等】

1. (他共著) 論文「純粹語聲が疑われた症例の左右耳別異聴の検討」, 『日本音声言語医学会誌』vol.62 No.3, 日本音声言語医学会, 7月

【学会、研究報告】

1. Anzaki, F., "Effect of Cognitive Neuropsychological Intervention on Persons with Developmental Stuttering", International Neuropsychological Society, World Congresss 2021 オンライン開催, 7月

【その他】

1. 安崎文子他, 令和2年度カワイサウンド技術音楽振興財団 研究助成報告「吃音改善のための左右異なる遅延時間で再生可能な遅延聴覚フィードバックデバイスの作成」, カワイサウンド技術・音楽振興財団報告, 5月

小玉 正博 教授

【論文等】

1. (単著) 論文「レジリエンスとは」, 『保健師ジャーナル (2021年9月号)』Vol.77 No.9, 医学書院, 8月
2. (共著) 「職場における女性間のいじめ生起への影響要因に関する検討」, 『教育相談研究』, 57巻, 筑波大学, 10月
3. (他共著) 論文「炎症性腸病患者が日常で知覚する困り事とその対処法に関する予備的検討」, 『Journal of Health Psychology Research』第34巻, 日本健康心理学会, 印刷中

【その他】

1. 宮城県子ども総合センター研修会講師 (心に悩みを抱える子どもたちをどう支援するか), 宮城県子ども総合センター, 2月
2. 「豊かな個性を尊重して長所を伸ばすには」, 『0歳からの教育2022 (ニューズウィーク日本版 Special Issue)』, CCCメディアハウス, 11月

杉山 雅宏 教授

【著書】

1. (部分単著) 第1章「対人援助職に必要な基礎知識」, 藤枝静暁・藤原健志編著『対人援助職のための発達心理学』, 北樹出版, 3月
2. (部分単著) 第2章「カウンセリングの技法」, 会沢信彦編著『教師・保育者のためのカウンセリングの理論と方法』, 北樹出版, 9月
3. (部分単著) 第9章「地域福祉領域の心理学的支援」, 日本福祉心理学会監修『福祉心理学』, 明石書店, 10月
4. (単著)『活きる子育て法 不登校の子どもとともに』, 悠々舎, 11月

【論文等】

1. (単著) 実践報告「暴力をふるう子どもの背景にあるものに関する考察—不登校となった子どもの事例から—」, 『埼玉学園大学心理臨床研究』第7号, 埼玉学園大学臨床心理カウンセリングセンター, 3月
2. (単著) 論文「不登校への対応に関する一考察」, 『日本ヒューマンリレーション研究学会誌』第2号, 日本ヒューマンリレーション研究学会, 12月
3. (単著) 論文「虐待という人間関係に関する考察」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月
4. (単著) 論文「友だちや仲間へ代わる人による支援の必要性に関する考察」, 『福祉と看護の研究誌』第8号, 愛知高齢者福祉研究会, 12月
5. (単著) 論文「友だち不信社会を生きる—ネットいじめによる被害者が届けてくれたこと—」, 『電話相談学研究』第28巻, 日本電話相談学会, 12月

【学会、研究報告】

1. 杉山雅宏他, 「オンライン講義(課題提示方式)における学生とのつながりを模索して」, 第40回日本社会精神医学会, 東京医科大学, 3月

【その他】

1. コラム(経世済民)「「ナショナリズム」とは何か」, 『埼玉新聞』12月16日

藤枝 静暁 教授

【著書】

1. (共編著) 藤枝静暁・藤原健志, 渡辺弥生監修『対人援助職のための発達心理学』, 北樹出版, 3月
2. (他共著)『体と心 保健総合大百科〈中・高校編〉2021:2019年度保健ニュース・心の健康ニュース収録 縮刷活用版』, 少年写真新聞社, 4月

【論文等】

1. (共著) 藤枝静暁・森田満理子, 実践報告「公立幼稚園における特別支援園内研修の実践記録(10—コロナ禍における保護者を対象としたオンライン子育て相談に対する評価—」, 『埼玉学園大学心理臨床研究』第7号, 埼玉学園大学臨床心理カウンセリングセンター, 3月
2. (単著) 論文「学びのための連載 心理的介入 SST」, 『公認心理師』第7号, 共同出版, 10月
3. (単著) 論文「子ども食堂の運営スタッフと利用者を対象とした利用理由に関する調査」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 藤枝静暁他, 「コロナ禍における幼稚園の保護者を対象としたオンライン子育て相談の実践報告」, 日本カウンセリング学会, 宇都宮市, 8月

2. 藤枝静暁他, 「児童生徒のあいさつ・感謝・謝罪スキルと学校適応感の関連に関する調査研究 (5): 適応指導教室指導員のスキル実行に対する自己評定からの検討」, 日本教育心理学会, オンライン開催, 8月

【その他】

1. 公認心理師試験学習会講師「発達」, 日本スクールカウンセリング推進協議会, 4月
2. 「低学年友達トラブル、解決の鍵は〈自己・他者感情理解〉」, 日経×woman DUAL, 9月
3. 保護者向け子育て講座講師, 港区立公立幼稚園・小学校, 11月

古澤 照幸 教授

【論文等】

1. (単著) 研究ノート「刺激欲求傾向の社会的影響に関する研究」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

遠藤 寛子 准教授

【著書】

1. (共編著) 『いじめ予防スキルアップガイド—エビデンスに基づく安心・安全な学校づくりの実践—』, 金子書房, 4月
2. (部分単著) 第3章「怒りを活かしてコントロールする 怒りを活かすメソッド」, 遠藤寛子他編『いじめ予防スキルアップガイド—エビデンスに基づく安心・安全な学校づくりの実践—』, 金子書房, 4月

【論文等】

1. (他共著) 論文 “Validation of a Social Emotional Wellness Survey Among Japanese Elementary School Students”, 『The Educational and Developmental Psychologist』 vol.38 issue.1, Taylor & Francis, 12月

川久保 惇 准教授

【論文等】

1. (共著) Kawakubo, A. & Oguchi, T. 論文 “Happy Memories: Improved Subjective Happiness through Vacation Recollection”, 『Tourism Analysis』 vol.26 no.1, Cognizant Communication Corporation, 1月

【学会、研究報告】

1. Kawakubo, A. & Oguchi, T. “Effects of leisure activities on well-being: Measurement of well-being using psychological and physiological indicators”, 26th Asia Pacific Tourism Conference, オンライン開催, 7月
2. 川久保惇・小口孝司「なぜ男性がネイルケアをするのか? ネイルケアが男性ビジネスマンに及ぼす心理的効果の検討」, 第85回日本心理学会, 明星大学, 9月

佐々木 美恵 准教授

【論文等】

1. (他共著) “The association between fathers’ self-assessment of their own parenting and mothers’ recognition of paternal support: A municipal-based cross-sectional study”, 『Journal of Epidemiology』, Japan Epidemiological Association, 8月

2. (他共著) “Father-child bonding among Japanese fathers of infants: A municipal-based study at the time of the 4-month child health checkup”, 『Infant Mental Health Journal』, World Association for Infant Mental Health, 8月

【その他】

1. 川口市民大学講座「“自分ごと”の心理学—心の健康を保つ心理学—」, 幸栄公民館, 6月
2. さいたま市社会福祉協議会 主任児童委員研修講師「子どものストレスとこころのケア」, オンライン開催, 10月

羽鳥 健司 准教授

【著書】

1. (部分単著) 第2章3節「ストレンクス(強み) Strength」, 秋山美紀他共著『看護のためのポジティブ心理学』, 医学書院, 2月

【論文等】

1. (単著) 実践報告「自己臭恐怖症の19歳女子大学生への認知行動療法の効果」, 『埼玉学園大学心理臨床研究』第7号, 埼玉学園大学臨床心理カウンセリングセンター, 3月
2. (他共著) 論文「炎症性腸疾患者が日常で知覚する困り事とその対処法に関する予備的検討」, 『Journal of Health Psychology Research』第34巻, 日本健康心理学会, 印刷中

【学会、研究報告】

1. 「炎症性腸疾患者が日常で知覚する困り事とその対処法に関する予備的検討—中間報告—」, 広島国際大学, 6月

伊里 綾子 専任講師

【著書】

1. (部分翻訳) パートIVモジュール29～33, R.L.コルツ他著・浅野憲一監訳『体験的コンパッション・フォーカスト・セラピー—〈実践から内省への自己プログラム〉ワークブッカー』, 岩崎学術出版社, 5月

【論文等】

1. (共著) 山田真希子・伊里綾子, 論文「無意識の優越感が抑うつ症状に果たす役割」, 『臨床精神医学』第50巻第5号, アークメディア, 5月

泉水 紀彦 専任講師

【著書】

1. (部分翻訳) パートIモジュール10～17, R.L.コルツ他著・浅野憲一監訳『体験的コンパッション・フォーカスト・セラピー—〈実践から内省への自己プログラム〉ワークブッカー』, 岩崎学術出版社, 5月
2. (部分単著) 第9章「カウンセリングの理論⑤: 認知行動療法」, 会沢信彦編著『教師・保育者のためのカウンセリングの理論と方法』, 北樹出版, 9月

【論文等】

1. (共著) 泉水紀彦・寺島瞳, 論文「社交不安に対する解釈バイアス修正(CBM-I)アプローチの研究の動向と展望」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【その他】

1. 川口市民大学「人間関係をよくする心理学」, 幸栄公民館, 6月

2. 令和3年度生徒指導・教育相談中級研修会「ロールプレイング・面接演習Ⅳ」, 越谷市教育センター, 8月

子ども発達学科

浦野 弘 教授

【その他】

1. 川口市教育課程研修会講師「確かな学力の育成につながる学校・学級・授業を目指して」, Web配信(川口市教育研究所), 2月
2. 日本オリエンタリング協会ナビゲーションインストラクター養成講座2021:同協会資格認定委員講師, 静岡県立朝霧野外活動センター, 7月
3. 川口市中堅教諭資質向上研修会講師「確かな学力を育成するための授業づくりを目指して」, Web配信(川口市教育研究所・川口市立芝中学校), 8月

尾形 和男 教授

【論文等】

1. (他共著) 論文「乳児の摂食外行動に対する親の対応の個人差—離乳食場面の観察データから—」, 『東洋学園大学紀要』第29号, 2月
2. (共著) 尾形和男・増南太志, 論文「青年の自己有能感形成に及ぼす要因の検討—両親の養育態度(PBI)と自尊感情・他者軽視との関連—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 福田佳織・尾形和男他, 「AQS得点に差のある2人の幼児に見られた乳幼児母子のやり取りの相違—離乳食場面の観察から—」, 日本発達心理学会第32回大会, 関西学院大学, 3月
2. 尾形和男・増南太志「青年の自己有能感形成に関する研究—両親による幼児期のしつけと両親・先生による賞賛との関連から—」, 日本応用心理学会第87回大会, 東北文教大学, 9月

【その他】

1. 「父親の育児休業—子育て環境改善のために」, 『月刊EN-ICHI FORUM』第366号, 平和政策研究所, 5月

坂田 知子 教授

【著書】

1. (部分単著) 第6章「子どもの基本的な生活習慣と健康」, 高橋弥生編『保育内容健康』, 青踏社, 12月

島田 和幸 教授

【著書】

1. (部分単著) 第14章「保育内容の歴史的変遷」, 小川圭子他編著『保育内容総論(シリーズ・保育実践につなぐ)』, みらい, 10月
2. (部分単著)「移民教育政策」, アメリカ教育学会編『現代アメリカ教育ハンドブック 改訂版』, 東信堂, 11月

【論文等】

1. (単著) 論文「松野クララの幼稚教育カリキュラム—恩物を使った実践を中心に—」, 『令和3年度大濠教育研究所紀要』, 大濠教育研究所, 12月
2. (単著) 論文「我が国の幼稚園萌芽期の保育内容」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

長友 大幸 教授

【論文等】

1. (共著) 長友大幸・生野金三, 論文「領域「環境」の研究」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

野瀬 清喜 教授

【論文等】

1. (他共著) 「オリンピックの意義と東京2020大会の課題」, 『埼玉武道学研究』第12号, 埼玉武道学会, 11月
2. (他共著) 「柔道投げ技における決めの局面での保持方法」, 『埼玉武道学研究』第12号, 埼玉武道学会, 11月
3. (部分単著) 「私の修業時代」, 『月刊武道』, 日本武道館, 12月

【その他】

1. 群馬市民大学講演「東京2020の意義と課題」, 前橋市中央カレッジグループ本社ビル, 5月
2. 埼玉大学講演「東京2020日本柔道の躍進を探る」, 埼玉大学, 10月

堀田 正央 教授

【著書】

1. (部分単著) 第4章「子どもの健康状態の把握と対応」, 大森正英編著『図解 新・子どもの保健』, みらい, 12月

【論文等】

1. (共著) 堀田正央・斎藤めい, 論文「保育の質的向上に向けた保育者の対人コミュニケーションに関する研究」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 堀田正央・斎藤めい, 「職場環境ストレスが保育に与える影響について—保育者の子どもに対するDominantな対応に着目して—」, 日本保育学会第74回大会, オンライン開催 (富山大学), 5月

増南 太志 教授

【著書】

1. (他共著) 第4章「子どもの理解に基づく発達援助」, 松本峰雄監修『子どもの理解と援助 演習ブック』, ミネルヴァ書房, 3月
2. (他共著) 『障害児保育 演習ブック』, ミネルヴァ書房, 9月

【論文等】

1. (単著) 論文「教職課程及び保育士養成課程の学生における発達障害の支援に対する意識—インクルーシブ教育・保育に対するユニバーサルデザインの視点—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

2. (共著) 論文「尾形和男・増南太志, 論文「青年の自己有能感形成に及ぼす要因の検討—両親の養育態度 (PBI) と自尊感情・他者軽視との関連—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

三浦 正雄 教授

【論文等】

1. (共著) 三浦正雄・生野金三, 論文「領域「言葉」と領域「人間関係」との連携授業の研究」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【その他】

1. (単著) 「學術の正道をもとめて—ソフィアとしての霊学 (スピリチュアリティ) (4)」, 『サムライ・平和 (Peace)』第17号, 山波言太郎総合文化財団, 2月
2. (共著) 三浦正雄・山川亜希子, インタビュー「山川亜希子氏へのインタビュー (1)」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

森本 昭宏 教授

【論文等】

1. (共著) 森本昭宏・山本智子, 論文「デジタル絵本製作をとおした医療的ケア児の参加・地域共生支援—保育・幼児教育課程にかかわる学生の教育実践に基づいて—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【その他】

1. (共催・グループ展) 「さいたま国際芸術祭2020—春のCAF.N展 2021—」, 埼玉県立近代美術館, 3月
2. (共催・グループ展) 第7回記念ゲタ箱展, 大田原市芸術文化研究所, 6月

山本 幸正 教授

【著書】

1. (部分単著) 序章、第1章「より望ましい教材研究の探求」、第3章第2節「〈学びのデザイン〉の表し方」、終章、資料1「研究の経過の詳細」、音楽鑑賞教育実践研究会著『音楽教育研究報告第31号 主体的・協働的な学びを促す音楽鑑賞指導の研究—学びのデザインの視点に基づく授業づくりと実践を通して—」, 公益財団法人音楽鑑賞振興財団, 1月

【論文等】

1. (共著) 津田正之・山本幸正, 実践報告「音楽大学における合唱を中心としたアウトリーチ活動—国立音楽大学「合唱行脚」の取組—」, 『音楽学習研究』第16巻, 音楽学習学会, 3月
2. (他共著) 公開座談会「民俗音楽と新型コロナウイルス」, 『民俗音楽研究』第46号, 日本民俗音楽学会, 3月
3. (他共著) 翻訳「リタ・クリンガー著『コダーイ・セッティングにおけるレッスン・プランニングへの手引き』」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月
4. (単著) 研究ノート「保育者・小学校教員養成のためのピアノ基礎教育の方法—指感覚を育てる鍵盤学習の試み—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「音名と階名を区別しその関係を理解するための教材の工夫—保育士、幼稚園・小学校教員の養成における試みを通して—」, 日本学校音楽教育実践学会, オンライン開催 (大会実行委員会: 東北福祉大学、オンライン拠点: 畿央大学), 8月

2. 山本幸正他（山本は指定討論者・話題提供者）、共同企画Ⅵラウンドテーブル「音楽の基礎力を培うアクティブ・リスニング—就学前教育・学校教育・教員養成を繋ぐコダイ・アプローチ」、第52回大会 日本音楽教育学会、オンライン開催（大会実行委員会：京都教育大学）、10月

【その他】

1. 中国無錫市 正木音楽学園オンライン講座講師「ピアノの即興演奏と即興伴奏」、オンライン開催（現地通訳）、3月
2. 国立音楽大学「音楽科教育講座（兼教員免許更新講習）」選択講習「読譜」講師、国立音楽大学、8月
3. 三鷹市公立小・中学校教育研究会音楽部会第1回授業研究・協議会講師、三鷹の森学園三鷹市立第三中学校、6月
4. 西東京市立小学校教育研究会音楽部B分科会研究授業・協議会講師、西東京市立保谷第二小学校、9～10月

川喜田 昌代 准教授

【著書】

1. （共著）河喜田昌代・富田久枝、『保育士キャリアアップ研修テキスト「乳児保育」』、萌文書林、12月

【学会、研究報告】

1. 「日本における子どもの権利の研究の動向と課題—日本保育学会の研究動向の変遷より—」韓国乳幼児教育学会発表、オンライン開催、10月

【その他】

1. 子育て支援事業（未就園児の親子対象）、中目黒スクエア、1～2月
2. 特定非営利活動法人NCN理事長、1～12月
3. 国分寺市子ども子育て会議 副議長、国分寺市役所、1～12月
4. 2021年度千葉県保育士等キャリアアップ研修会講師、市川市・千葉市他18回、8～12月

杉浦 浩美 准教授

【論文等】

1. （単著）論文「育児休業復帰面談における権力作用—不安が利用されるとき」、『応用社会学研究』No.63, 立教大学、3月
2. （単著）特集Introduction「〈ネット世論〉は政治を動かすか」、『生活経済政策』No.291, 生活経済政策研究所、4月
3. （単著）書評「瀬地山角著『炎上CMでよみとくジェンダー論（光文社、2020年）』」、『家族社会学研究』第33巻第1号、日本家族社会学会、4月
4. （単著）論文「なぜマトニティ・ハラスメントはなくなるのか」、『アジェンダ』第73号、星雲社、6月
5. （単著）特集Introduction「労働の社会的価値と対価の乖離」、『生活経済政策』No.296, 9月
6. （単著）書評「中囿桐代著『シングルマザーの貧困はなぜ解消されないのか（勁草書房、2021年）』」、『生活経済政策』No.297, 10月
7. （単著）論文「被害者が被害者を支援するということ—自責化を防ぐ役割—」、『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号、12月

【その他】

1. 自治労女性部講演会講師、自治労会館、10月

2. 一般社団法人家族・保育デザイン研究所講座「ジェンダーと保育」第1回・第2回講師，オンライン開催，11月

寺田 己保子 准教授

【論文等】

1. (他共著) 論文「保育者養成における弾き歌い指導法についての実践研究—学生の読譜、弾き歌い、歌唱の問題解決に向けて—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【その他】

1. 東京都高等学校音楽教育研究会多摩北地区研究大会講師, オンライン開催(都立小金井北高等学校), 10月

藤野 好美 准教授

【その他】

1. 認知症家族支援講座講師, 群馬県高崎市, 3月
2. アルツハイマーデイ記念講演会・シンポジウム シンポジスト, 群馬県高崎市, 9月
3. 認知症家族支援講座講師, 群馬県前橋市, 10月
4. 認知症家族支援講座講師, 群馬県高崎市, 12月

吉野 剛弘 准教授

【論文等】

1. (単著) 史料紹介「受験準備教育と高等学校専攻科との関係—鳥取県立公文書館所蔵『鳥取城北専攻科、米子北専攻科関係』—」, 『中等教育史研究』第28号, 中等教育史研究会, 4月
2. (単著) 論文「高等学校における教育課程編成と学校設定科目(2)—埼玉県S市の公立高等学校普通科を事例として—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 「旧制高等学校入試問題にみる中等教育に求められた水準—明治末期の旧制高等学校の数学の入試問題を通して—」, 中等教育史研究会第69回研究会, オンライン開催, 8月

【その他】

1. 全国地方教育史学会第44回大会シンポジウム「高等・専門教育機関と地域社会」コーディネータ・司会, オンライン開催, 5月

石橋 優美 専任講師

【論文等】

1. (共著) 石橋優美・鈴木豪, 論文「親の人間関係についての悩みと子どもの人間関係に対する期待との関連—母親に対する調査データの2次分析から—」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 石橋優美他, 自主企画シンポジウム「児童・生徒の「教科内容の本質的理解」を促す授業デザイン—(1) どのような課題を設定するか—」, 日本教育心理学会第63回総会, オンライン開催, 8月

佐内 信之 専任講師

【著書】

1. (部分単著)「『生活綴り方』における個と集団―無着成恭の『山びこ学校』に学ぶ―」, ネットワーク編集委員会編『多様性を受けとめる教室―インクルーシブ教育を問い直す― (授業づくりネットワークNo.37)』, 学事出版, 1月
2. (部分単著)「プロジェクト型学習のリアルとカオス―深谷新教室の「探究」する学び―」, ネットワーク編集委員会編『探究する教室 (授業づくりネットワークNo.39)』, 学事出版, 8月

【論文等】

1. (単著) 論文「幼児期から児童期にかけての言葉遊び―しりとり絵本の分析による考察―」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【その他】

1. 佐内信之他, 校内研究会講師, 小金井市立前原小学校, 2月
2. 佐内信之他, 第18回 夏のチャレンジ! 全国小学生『未来』をつくるコンクール 作文部門審査員, オンライン開催 (ベネッセ教育総合研究所主催), 11月

堀田 諭 専任講師

【著書】

1. (他共訳)『真正の評価―テストと教育評価の新しい科学に向けて―』, 春風社, 9月
2. (共著) 堀田諭・岡田了祐, 「訳者補論②: 子どもの個性やコンピテンシーをいかに評価していけばよいのか? ―観念の多元化・開放化と文脈を重視するジョン・レイヴンの評価論を手がかりに―」, ハロルド・バラック他著・渡部竜也他訳『真正の評価―テストと教育評価の新しい科学に向けて―』, 春風社, 9月

【論文等】

1. (他共著) 論文「高等学校公民科「公共」を教師はどのように捉えているか―インタビュー調査から明らかになった新科目への期待と懸念―」, 『静岡大学教育実践総合センター紀要』第31巻, 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター, 3月
2. (単著) 論文「スタンダード時代の社会科カリキュラム構築における問いの再評価とその課題―新旧『初等社会科』の観念から問いへの変化が意味するもの―」, 『埼玉学園大学紀要』人間学部篇第21号, 12月

【学会、研究報告】

1. 堀田諭・川口広美, 「事例報告②: NBPTSの社会科基準の特色」, 広島大学教育ビジョン研究センター (EVRI) 第88回定例セミナー「教師の専門職スタンダードはどうあるべきか―教科と教育の関係から考える―」, オンライン開催 (広島大学), 8月
2. 「スタンダード時代の社会科カリキュラム構築における問いの再評価とその課題―新旧『初等社会科』の観念から問いへの変化が意味するもの―」, 日本社会科教育学会第71回全国研究大会, オンライン開催 (福島大学), 11月

【その他】

1. 高校生アイデアEXPO@Web審査員, オンライン開催 (品川女子学院主催), 4月